

テーマ別おすすめ
ライトなノベル

『文豪ストレイドッグス』

朝霧 カフカ/著 KADOKAWA
実在した(する)文豪たちが“異能力者”になってヨコハマに集結！主人公は孤児院を追い出された中島敦、18才。餓死寸前に、川で入水自殺をしようとしていた太宰治に出会ったことで太宰の動く『武装探偵社』で働かせてもらうことに。敵対する異能組織『ポートマフィア』や『組合』との争い。高校生活の中で必ず一度は聞いたことのある文豪たちが織りなす奇怪千万の異能バトル、見逃すなかれ！！(ペンネーム 春愛-はるあ-さん)



『転生したらスライムだった件』

伏瀬/著 マイクロマガジン社
「転スラ」はキャラクターの会話また心情描写のギャグ要素などのバランスが絶妙で、目新しい面白い作品なので特におすすめです。(ペンネーム プラストライバーさん)

『鳥居の向こうは、知らない世界でした。』

友麻 碧/著 幻冬舎
主人公がはじめは内気な性格なのですが、異世界へ行き、様々な人たちと触れ合っていくにつれだんだんと明るくはつきりと物事を言える性格になっていくところが好きです。また、異世界ならではの不思議な『仙術』(魔法のようなものですね)が出てきたり、その主人公が仙術を使う時のピアノの表現がとてもあざやかに文にされています。主人公もただの人間ではないということも気になりますよね！気になった方はぜひ読んでみて下さい！！(ペンネーム 眠兎さん)

投稿者さんからの
おすすめ本特集！

『新妖界ナビ・ルナ』

池田 美代子/作 講談社
透門ナナセと竜童ルナは、護神剣と破妖剣をどちらも手に入れるために戦うところがオススメ！(ペンネーム ちひさん)



スタッフの
おすすめ

『いつか君に
出会ってほしい本』
何度でも読み返したい158冊
田村 文/著
河出書房新社



これは「本の世界へようこそ」という中学生向け読書案内の連載をまとめたものです。著者の田村さんは連載開始時に心に誓ったことがあります。それは読者を子ども扱いしないということです。本文にこう書かれています。「相手が中学生だからといって手加減しないということだ。中学生だったころの私は、子どもだと思って手を抜いた対応をされるお腹が立った。だから一本一本、全力で書いて」。著者が全力ですすめる本。児童書だけでなく大人が読む一般書や、辻村深月や東野圭吾など、名作から現代の話題作まで幅広く紹介されています。中学生だけでなく、小学校高学年から高校生まで、読みたくなる本がぎっしりと見つかると思います。まずはこの本から読んでみてください。

みんなからの
この本
おすすめ

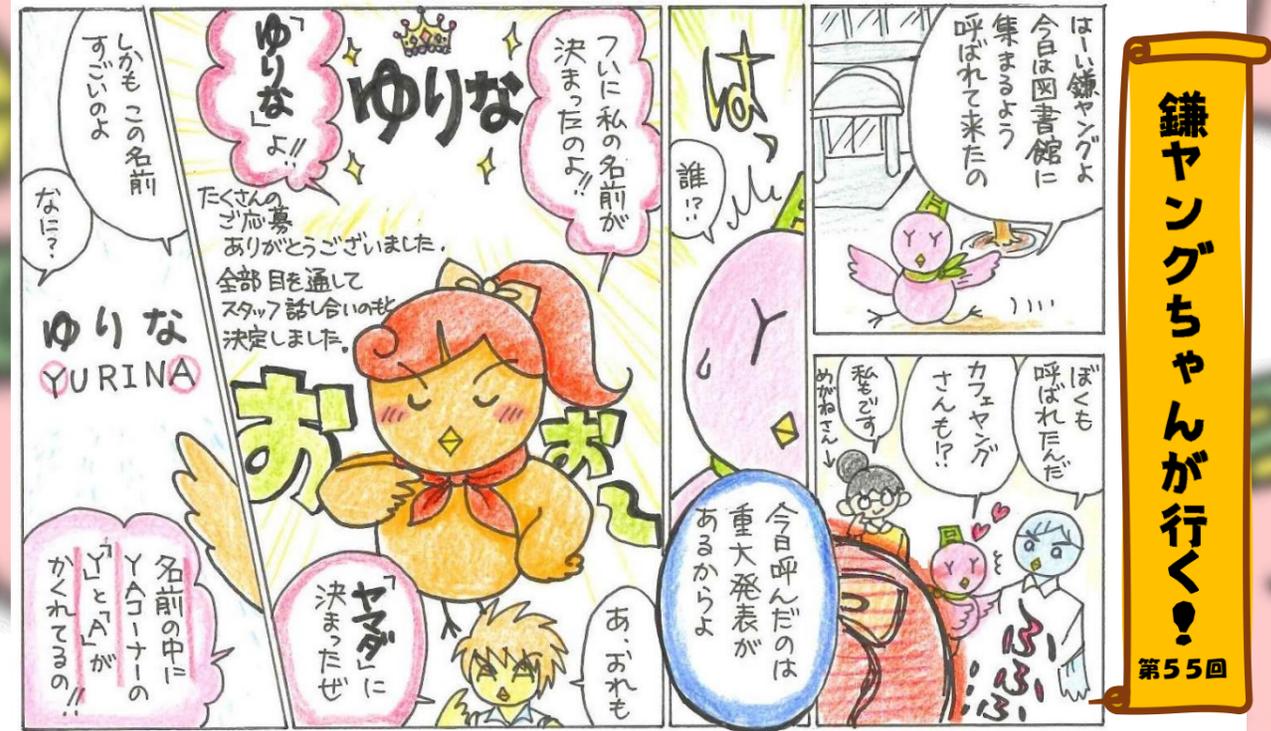
『そして、遺骸が
死者たちの手紙』
酒場 御行/著
KADOKAWA



統合歴六四二年、一万五千人以上の犠牲者を持つペリドット国は森鉄戦争に勝利した。敏腕狙撃手のキャスケットは終戦後、陸軍の遺品返還部で、戦死した同志達の遺品や最期の言葉を届けていた。それぞれが胸に抱いていた思い、それらを受け止め前に進むと足掻く人々。遺す者と遺された者の魂達は私達に何を伝え、考えさせようとしているのか。大切な人を想いながら読んでみてはいかがだろうか。(ペンネーム ソツギョウセイさん)

YA! 新聞
ヤングアダルト

2023.秋
第55号
鎌ヶ谷市立図書館
(047)443-4946



鎌ヤングちゃんが行く！
第55回

新着図書案内 7月~9月

- ★『雨にシユ克蘭』 こまつ あやこ
 - ★『いつか君に出会ってほしい本』 田村 文
 - ★『きみの話を聞かせてくれよ』 村上 雅郁
 - ★『すき、好き、スキ。』 イノウエ ミホコ
 - ★『スクランブル交差点』 佐藤 まどか
 - ★『ノクツドウライオウ 靴ノ往来堂』 佐藤 まどか
 - ★『ぼくたちがギュンターを殺そうとした日』 ヘルマン・シュルツ
 - ★『夜フクロウとドッグフィッシュ』
ホリー・ゴールドバーグ・スローン/作 メグ・ウォリツァー/作
 - ★『ルーパートのいた夏』 ヒラリー・マッカイ
 - ★『文豪中学生日記』 小手鞠 るい
- この他にもまだまだあります！詳しくはホームページのYAページで！

図書館への質問、おすすめの本など大募集！

本館2階のYAポストに入れてね！YA新聞に採用させてもらってもいいかも！？ 名前はペンネームでOKよ！

鎌ヤングちゃんから
ひとこと

年末は
12月27日(水)まで
開館しているわ。
年始は2024年1月4日(木)
13:00~17:00
(本館・東部分館以外は
16:45まで)
変則的开館よ

